

市町村国保が実施する保健事業（糖尿病重症化予防）の取組例

南九州市

資料5

糖尿病重症化予防研修会

市内医療機関従事者及び行政職員が対象
糖尿病専門医による講演会及び医療機関従事者との意見交換会を実施

- 【市の思い】
- ・市民の健康状態や市の取組をもっと知ってもらいたい
 - ・医療機関従事者は患者さんの状況をどのように思っているんだろう
 - ・気になる患者さんは保健センターにつないでもらいたい

- 【医療機関従事者からの意見】
- ・気になる患者さんはいるがゆっくり話をする時間がもてない
 - ・糖尿病が悪化して合併症を発症してから受診するケースがいた



医療機関だけでは解決できない問題もあり、医療機関と市との連携の必要性について共有でき医療機関が気になる患者さんを市へつなぐための体制づくりにつながった。

日置市

糖尿病重症化予防教室

HbA1c 7%以上，空腹時血糖140mg/dl以上が対象。年4回（うち1回は個別指導）実施。

重症化予防プロジェクト

慢性腎臓病者（Ⅱ期～Ⅳ期）が対象者
対象者決定後、面接指導2回、電話指導6回を実施していく。

糖尿病重症化予防OB会

OB会を年3回実施
130名登録があり、毎回10～20名参加し、勉強会や交流会を実施

